

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

エペソ人への手紙一章二三節

2016(28)年 週 報

9月 4日

「夫たちへの勧め②」

第一聖日

第 3471 号

聖
言

キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いを持って、教会をきよめて聖なるものとするためであり、エペソ 5:26

主の弟子となる⑱
第二課 バプテスマ——次のステップ
基本原則を適用する

今まで学んできたこと話しあってきたことに、自分なりに応答する時間です。十分時間をとって考えましょう。一、最初の三つの段階を思い起こして見ましょう。

① 段階 御言葉を学ぶ マタイ二八ノ十六ノ二〇

② 段階 文献にあたる

③ 段階 論点を考える

二、自分の生活への適用を考えてみましょう。

この課の適用は当然、もしまだあなたがたがバプテスマを受けていないのなら、バプテスマを受けることです。下の空欄に、あなたがバプテスマを受ける時、会衆の前で語りたいことを簡潔に書いてください。もしあなたがすでにバプテスマを受けているのであれば、その際に語ったこと、もしくは、この課を学んでいたなら、こう語っただろうと思うことを書いてください。

(CIBTE主の弟子より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一六年八月二八日午前一〇時 礼拝 山本稔牧師

「自分の妻を愛しなさい」

「夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたも、自分の妻を愛しなさい。」(エペソ五ノ二五)

25節 夫たちの勧め① キリストが教会を愛したように、妻を愛しなさい。

妻たちに夫に従うことを勧めたパウロは、次に夫たちにキリストが教会を愛したように、妻を愛しなさいと命じます。実例として、キリストが「ご自身」(ヘアウトン)を教会の為にささげられたことを

あげます。このささげるとは提供者が自分を完全に明け渡すことを意味します。パウロはキリストの十字架の贖いを連想させるイメージを用いて(ローマ8:32)、夫に訓戒を与えています。

夫の妻に対する愛はキリストが教会のためにご自身をささげられたのとおなじようではありません。

26、27 夫たちへの勧め② 教会のためのキリストの愛とその目的

パウロはキリストの愛の目的と結果を説明することによって、夫の妻に対する愛がそれと同じ目的と結果をもたらさなければならぬといっています。これはキリストがご自身をささげられた(25節)ことによって、教会はきよめられて(かさりさす)聖なるもの(ハギアセー)(26)、その結果キリストがご自身で願われたとおりに、教会が神の前にたつことができるようになったからです。夫の妻に対する愛の結果は、キリストの教会に対する愛の結果と同じものになるべきです、すなわち、夫は妻に対するキリストの愛を實踐して、妻の存在をより尊いものとし、完全なものとなるように助けなければなりません。

二〇一六年八月三一日午後六時半 祈祷会 山本稔牧師

「ホセアの家庭生活」ホセア一章

「主がホセアに語り始められたとき、主はホセアに仰せられた。『行って、姦淫の女をめとり、姦淫の子を引き取れ。この国は主を見捨てて、はなはだしい淫行にふけっているからだ。』」(ホセア一ノ二)

主イエス様はサマリヤの女に水を求められた。彼女はイエス様に対して敵対するユダヤ人がしかも男性がどうして水を求めるのかと問い正すと、水を求める者がだれであるかがわかると、あなたのほうからそのものに水を求めるであろう。なぜなら、飲んでも渇くことのない、生ける水を与えらるおっしゃられました。するとサマリヤの女はイエス様に渇くことのない水を求めると、あなたの夫を連れてきなさいと、いわれたのです。女は夫はいないと言うと、イエス様は先には五人の夫がいたが、今も同棲中であると女のプライバシーを語ったのです。姦淫とは結婚をしながら別の男性と肉体関係を結ぶことです。神様はホセアにそのようないかがわしい女を娶れと言われました。すなわち、神は妻としてめとったイスラエルが神以外のものと姦淫を行っていることを知らすためにホセアに同じ苦しみを味あわせたのです。

九月行事計画改正

- 二日(金) 楽しい月一回の祈り 午後一時
- 四日(日) ヨベル約束献金日 礼拝後役員会
- 八日(木) 納骨堂掃除 午前一〇時
- 一日(日) オープン礼拝 大嶋善直牧師
- 一九日(月) 教団牧師会 午前一〇時
- 二三日(金) 大日丘集会 午後五時
- 二六日(月) 説教塾 午前一時 神港教会
- 二七日(火) ～三〇日(金) 日本伝道会議 神戸コンベンションセンター

※九月会計役員 小段姉 大内姉 補野見山姉

第六回日本伝道会議 (JCE6)

二〇一六年日本伝道会議基本理念
 日本におけるプロテスタント「宣教一七〇年」を迎える二〇一六年九月、私たちは神戸において第六回日本伝道会議(JCE6)を開催します。その初期において福音派アンデナイトイである「聖書信仰」を確認したJCEは、JCE4では教会が「和解の福音」の使者であることを明らかにし、JCE5では福音のための「宣教協力」を広くまた深く進める事を目指しました。JCE6ではその歩みと現在の取り組みを確認して、そして七年後に予定されているJCE7に向かって具体的な宣教協力を進めます。

- 日時 九月二七日(火)～三〇日(金)
- 二七日午後三時～七時 夕食弁当
 - 二八日二九日 午前九時～午後九時 昼食弁当 夕食各自
 - 三〇日 午前九時～一二時半 昼食弁当 夕食各自

場所 神戸コンベンションセンター

神戸市中央区港島中町六ノ十一ノ一

(ポートアイランドモノレール市民広場)

費用 全日通し 一万二千元(二千元教会負担) 一万円
 係り 小段姉

九月誕生祝い

- 山本咲子姉 一二日
- 山本稔兄 二三日
- 榎原恵一兄 二七日

中国の賛美

- インマネリー インマネリー
- シエーンワメンドダー
- シエーンニンノンダー
- シエーンワンノンダー
- シエンノンダー シエンノンダー
- インマネリー インマネリー
- アーメン
- ヤージャヤシャ
- パークソンハイライ
- ワディ パーゴ エトイエ ヤファア
- カーヨン ダルヨゴスジジョ
- アーメン